

校長室だより



今回は後日全校児童
に配付します

全校児童配付版

第15号

令和7年10月4日

春日井市立松原小学校

入江陵介選手 ありがとう

10月2日、松原小学校にオリンピックの入江陵介選手が来校して、講演会をしてくださいました。会場の体育館には、全校490人の子どもたちと70人程の保護者と地域の見守りの方々が入り、今か今かとオリンピックの入場を待ち構えていました。入場すると、あちらこちらから歓声があがり、「かっこいい」という声も聞こえてきました。入江選手の一言一言に耳を傾け、「え～そうなんだ」とうなづきながら聞く子どもたちはあっという間に、心をわしづかみにされてしまいました。

児童会の子や学年代表の子どもたちからの質問の一つ一つに丁寧に分かりやすく答えてくれる姿に、人として尊敬の念を抱きました。途中からは、「みんなのところに行こうかな」と自ら舞台から下りて、子どもたちの列の中に入ってくださいました。入江選手のお人柄だなと感動しました。「夢・努力・チャレンジ」というキーワード一つ一つに対して、ご自分の経験や想いを重ねて、子どもたちに大切なメッセージを伝えてくださいました。講演会後に書き込んだ松原っ子ルームには、どの学年からも心に残ったメッセージがありました。過去一の470のお礼や感動のメッセージが書き込まれ、子どもたちの感動、感心の高さを物語っています。時間がありましたら、お子さんのタブレットで松原っ子ルームをご覧ください。また、H&S保護者アンケートには、参加された方だけでなく、興奮冷めやらぬお子さんからの報告を聞いて感動された方からのメッセージもたくさん届きました。子どもたちの感動を受け取っていただいて、家庭で話題にしていただいていたとしたら、うれしいです。

講演を終えた入江選手は校長室で「みんなが一生懸命に聞いてくれてうれしかった。あんなにたくさんの子が質問してくれるとは思ってなかった。みんなからの温かい拍手もうれしかった。」とおっしゃっていました。入江選手には、「ぜひ、全国の小学生に、今日のような講演会をしてください。子どもたちに本物からわくわくドキドキして学ぶ機会を作ってあげてほしい。」とお願いしました。



「すごいな」「カッコいいな」「水泳選手になりたい」「ぼくもメダルをとりたい」「目標をもとう」「一つ一つがんばっていこう」いろいろな感想がありました。学校でも、家庭でも、子どもたちの純粋な想いを次のチャレンジにつなげていけるように声かけしていきたいです。入江選手から直接お会いして教えていただいたことを覚えていてほしいです。



1・2年生

そして、またとないであろう貴重な機会を松原小学校のために準備してくださった入江選手とイトマンスイミングのみなさんに心から「ありがとう」を伝えたいです。子どもたちだけでなく、保護者のみなさんや私たち教員もすばらしい時間を過ごし、子どもたちに接する上で大切なヒントをいただきました。↓講演会の入江選手の主なメッセージです。

- いろいろな感情が大切。すべての感情が役に立つ。
- 壁にぶつかったとき、何を感じるか。その時の気持ちが大事。
- 学校の勉強をちゃんとやるのが大事。そして、横にいる友達を大切すること（人間関係づくり）が大事。
- みんな、緊張することはある。緊張した時は、深呼吸するようにしている。呼吸を落ち着かせている。自分を信じる。人のことを気にしない。
- 目標や夢を持ち続ける。夢を分割していくといい。少しずつ目標をたてて達成していった先にオリンピックがあった。
- 緊張するのは相手や周りにどう思われているかを気にするから。今まで努力してきたこと、練習してきたことをそのまますればいいだけ。
- 夢や目標は大きく捉えがちだけど、小さなことから1つ1つやっていけばいい。
- チャレンジすることは、恐れないこと。チャレンジする自分をほめてあげる。チャレンジしている最中には、いいことも悪いこともある。
- 失敗してもいい、負けてもいい、チャレンジしている自分を褒めて欲しい。
- 上手くいかなかった時に感じた感情を大切にしたい。

○とても貴重な体験になったし、「緊張したら深呼吸をする」ことは今後の生活にもいかせていけたらいいなと思いました。教えてもらった「今となりにいる友達を大切にする」と、」を意識して学校生活を送っていきたいです!!!!

○ぼくは、入江選手の話聞いてこれからぼくは、どんなにたいへんでもあきらめないという力をもらいました。夢、努力、チャレンジがいかに大切かがとてもわかりました。

○入江選手が来てくださったとき僕は、少し緊張していましたが話し方が優しく、緊張している気持ちも吹き飛んですごくカッコよかったので、すごく感動したし、「え〜〜」と思う話をしてもらってとても感謝しています。

○焼肉が好きなこと、トマトが嫌いなこと、水泳でのきれいに泳ぐコツ、0歳から水泳を始めてみんなを驚かせたこと、失敗してしまったときは後悔はせずその時の感情は大切にしたいと進むと良いと教えてくれたこと、小学校のときは真面目で時間があると勉強をしたりしててすごいなと感心しました。

○自分だったら、夢とかってすごく大きいものだと思ってたけど、入江選手は、どんどん身近な目標から達成して行ってて凄いと思ったし、自分も夢ができれば真似してみたいな

と思いました。

○少し前に、イトマンをやめてしまっていたのですが、今日、入江選手のお話を聞いて、またやりたいなという気持ちになれました。

☆講演会を聞いてイトマンスイミングも週2回に増やしてほしいと言われました^_^

☆入江選手は、すぐに子供たちの心を掴み、話もお上手でやっぱり聡明な方だなと思いました。子供たちがとても意欲的に参加しており、すばらしい講演会だったと思います。また、児童会の皆さんの仕切りや発言の内容、会場のいろんな場面での空気作りなどに関心しました。「腹筋みせてください！」はナイスな質問でした。

☆世界で活躍された選手との対面でのやり取りにとっても興奮したようです。帰宅してからも興奮冷めやらぬ様子で講演会のお話をたくさんしてくれました。銀メダルを間近で見られたこともとても特別に感じたようです。

☆入江選手の立ち振る舞いそのものが、お話いただいたことを体現されていて、アスリートとしての成績ももちろん素晴らしいですが、人として大切なことに向き合い続けているお姿に感銘を受けました。

☆児童会の子どもたちが、クロムブックを操作し入江選手の紹介スライドをスクリーンにアップしてくれたり、ポジティブな言葉かけで児童全員を静かにするよう誘導している姿と、それを聞き入れる他の子どもたちの姿も、自主的に動いていて素晴らしいなと思いました。

☆どもも真剣にそして楽しく話を聞けたようで、家に帰ってきてすぐ次の水泳の試合の時には泳ぐ前に深呼吸をして落ち着いて自分のレースに集中してベストを出すと意気込んでいました！失敗を恐れず、失敗から学び成長していってくれると嬉しいです。

☆入江選手のお話を聞いて、将来の夢を叶える為には、努力とチャレンジが必要だ！と子供が教えてくれました。

☆帰ってきてから「いりえせんしゅみたいになりたい！」と何でも完璧にこなす入江選手から沢山の刺激を受けたようです！今後の息子の活躍が楽しみになりました。

☆小学生の頃から、時間を効率的に使って、様々なことに挑戦されていたこと、同世代として、とても尊敬します。夢は分割し、小さな目標を日々達成していくということをこれから親子共に実践できればと感じました。

☆時間がないとついつい言い訳してしまうのですが、隙間時間も生かして生活してみる事。日々の中で心に留めて生活していこうと思いました。

☆入江選手から刺激を受けた息子は帰ってきてからの宿題を今年1番綺麗に完璧にこなしていました！

☆これから子どもたちが、入江選手の言葉を胸にどんどんチャレンジして、大きく成長していってくれるといいなと思います。

☆オリンピックの生の声はやはり心に響くものがあって、子どもたちに向けられた言葉なのですが、なぜか私も頑張ろうと思ってしまいました。子どもが夢を持ち続けられるようサポートを頑張ろうという気持ちにさせられました。

☆たくさんの習い事をされていた入江選手のご両親は、送迎等も含めサポートが毎日大変だったと思います。我が家も毎日の習い事で時間配分も大変ですが、私も今しかできない子どものチャレンジのサポート頑張ろう！と思いました。

☆息子が「世界で2番になったんだって！」「銀メダルも見せてもらった！」と興奮気味に教えてくれました。入江選手と同じイトマンに通っていますが「諦めないで頑張ろうかな」とやる気も出ていました！

☆オリンピックの生の声を見聞きでき、ネットやテレビなどとは全く質の違う感動をいただきました。

☆今日、入江さんのお話を聞いて思ったのは、頂点をつかむ人は、小さい頃から努力を重ねること、また、時間の管理ができること、そして、明確な目標を描くことだと思いました。

子どもたちや保護者メッセージから、講演会の様子が伝わっていることを願っています。すべてを載せることができなくて、ごめんなさい。会を運営してくれた児童会、学級委員、そして質問をしてくれた子どもたち、みんなよくがんばりました。質問の言葉やありがとうというお礼まで、上手に伝えることができていると感心しました。みんなの成長に感動しました。また、今回初めてすべての運営を子どもたちに任せました。保護者の方がそこに注目してくださって、子どもたちの活躍の様子をメッセージに書いてくださったこともうれしかったです。きっと子どもたちの次への意欲につながります。

講演会のようすは、翌日の中日新聞で記事になりました。「小さな目標 夢の始まり」素敵なタイトルでした。そして、当日ケーブルテレビ（CCNet）の撮影も入っていました。10月25日から1週間放送されるそうです。（案内を後日配付します）



3・4年生



5年生



6年生

＜学校からの連絡・お願い＞

- 1 松原中学校区スポーツ振興会から、今年もバスツアーの案内が届きました。H&Sで送信しましたので、確認をお願いします。行楽の秋、ぜひご家族で、親子でご参加ください。
- 2 体育発表会の学年練習や紅白リレーの練習では、体操服と赤白帽を着用することになっています。練習のある日には、体操服、赤白帽、タオル、水筒等、忘れないようにお願いします。
- 3 昨日の運動場の草取りにたくさんの保護者の皆様が協力していただきました。ありがとうございました。

「何事にもチャレンジし自分らしく学び続ける子」「自分も相手も大切に正しく行動できる子」